

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【 II 】
2 実施対象者	行方市立麻生中学校 生徒 303名 保護者 259名 教職員 28名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 1 教科名 () 2 行事名 () ③ その他 (講演会) (2) 地域における活動 1 イベント名 () ② その他 (ボランティア活動)
4 目標 (ねらい)	地域スポーツ大会にボランティアとして参加することで、スポーツを「支える」関わりをし、「おもてなし」や「ボランティア精神」を醸成する
5 取組内容	○オリンピック・パラリンピックコーナーの設置（図書・資料の展示） ○地域スポーツ大会等でボランティア活動（部活動毎に） ・大会準備や後片付け ・競技役員補助 ・会場内や会場周辺の清掃 ○講演会「グローバルマナーとおもてなしの心」講師：江上いずみ氏
6 主な成果	○オリンピック・パラリンピックコーナーは図書室前に設置したため、全生徒が目にすることができ、資料を読んだり図書を借りて読んだりしてオリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が高まった。  ○地域スポーツ大会等のボランティア活動では、周囲の人から称賛の言葉をかけられ、自分たちの活動が大会を支えていることを意識できた。茨城国体やオリンピック・パラリンピックでのボランティア活動につながることを期待できる。



○江上いずみ氏のCAの経験を基にした講演は、生徒の興味を引き、具体例やロールプレイなども交えた内容で90分間集中して聴いていた。



7 実践において工夫した点(事業の特色)

○地域スポーツ大会等のボランティア活動は、部活動毎に行ったため競技役員補助など自分の部活動の知識や技能を生かした活動を行うことができた。



○講演会は、授業参観日に実施し、保護者にも一緒に聴いてもらった。「おもてなしの心」の話は保護者にも好評であった。

8 主な課題等

○オリンピック・パラリンピックコーナーは興味・関心をもって見ている生徒がいた一方、あまり興味を示さなかった生徒も少し見られた。1時間でもいいので教科などで取り上げる必要があったと感じる。

9 来年度以降の実施予定

○2019年には茨城国体も開催されるため、本県ではスポーツボランティアの必要性がより高まる。来年度も部活動毎のボランティア活動に取り組みせ、「スポーツを支える」活動を充実させて「ボランティア精神」の醸成に努めていきたい。